

第49回福島県中学校体育大会相双地区予選大会

第49回福島県中学校体育大会相双地区予選大会は、6月14日・15日・20日南相馬市等を会場として開催されました。広野中学校からは、卓球・野球・サッカー・バドミントン・バスケットボール・剣道・バレーボール及びソフトテニスの8種目に参加し熱戦が繰り広げられました。その結果、下記の種目が7月22日～24日会津若松市会津総合体育館で開催する福島県大会へ出場することになりました。選手の皆さんのご活躍を祈念いたします。



- 【剣道】<団体戦> ★優勝
 (女子) <個人戦> ★優勝 渡辺 捺美
 ★第2位 鈴木 倫
 ★第3位 岡田 世子
 ★第3位 犬塚 愛子



- 【剣道】<団体戦> ★第3位
 (男子) <個人戦> ★第3位 根本 貴弘



ありがとう！エミリーさん！

小中学生の英語指導のため来日していた英語指導助手のエミリーさんが、契約期間満了により7月に母国アメリカへ帰国することになりました。たくさんのご指導、そして楽しい思い出をありがとうございました。以下、エミリーさんからのあいさつ文をご紹介します。

Dear Hirono-machi,

Goodbye Hirono, and thank you for a wonderful year! I will be returning to America to study to become a doctor. But, I wanted to thank you for your generosity and the great memories.

I had an amazing year in Japan, and I owe a lot of that to the people of Hirono. You have all made my stay in Hirono fun, comfortable, and exciting! I will never forget being dressed in a kimono, cherry blossom viewing, being greeted by Hirono students all over town, playing softball, and the everyday friendliness of the people of Hirono. Thank you for your patience when speaking to me in Japanese and for all of your invitations to parties and events.

I will always remember Hirono and the great times I enjoyed here for the rest of my life. Thank you for the memories!

Please keep in touch and come visit me in America!
 Emily

広野町のみなさんへ

さようなら、広野町の皆さん。楽しい1年をありがとうございました。私は医者になるために、アメリカの大学で勉強します。皆さんはとても寛大で、私によい思い出を作ってくれました。

私は日本で今までにない1年を過ごしました。皆さんには本当に感謝しています。おかげで私の生活は面白く、心地よく、エキサイティングなものになりました。私は、着物を着たことや、桜の花見、広野町の生徒達に町中であいさつされたこと、ソフトボールをしたこと、そして毎日の皆さんのあたたかさを決して忘れません。また、私が日本語で話すときに辛抱強く聞いてくれたり、パーティーや行事に招待してくださり、ありがとうございました。

私はこれからも、広野町やここでの楽しい思い出をずっとおぼえています。いい思い出をありがとうございました。

これからもよろしくお願います。アメリカまで私に会いに来てください。

エミリー



稚鮎の放流 (7月1日解禁)

6月3日(土)、浅見川鮎愛好会では、町内の3河川に200kgの稚鮎を放流しました。

解禁日は7月1日ですが、鮎つりを楽しむためには広野町鮎愛好会の会員証が必要となりますので、入会をされてからお出かけ下さい。

アカデミー生が田植え

5月21日(日)、アカデミー福島男子生徒17人が、猪狩新一郎さん所有の田んぼを借用して、田植えの体験をしました。生徒たちは全身泥だらけになりながらも、楽しそうに初めての田植え体験をしていました。



家族経営協定書 交付式

先日、(有)アグリもんまの門馬育子さんと門馬令法さんの間で家族経営協定書が広野町農業委員会、双葉農業普及所立会のもと取り交わされました。今後の農業にとって明るい話題であり、農業後継者の参画による魅力ある農業経営を実践して行くと思われま。

